



2025年3月期 第3四半期 決算報告

2025年3月期 第3四半期 決算報告 ①

指標 (百万円)	2024年 3月期 第3四半期	2025年 3月期 第3四半期	増減	対比:%
売上高	42,012	43,035	1,023	2.4
営業利益	4	1,054	1,050	—
営業利率: %	0.01%	2.4%	2.39%	—
経常利益	865	1,223	358	41.4
当期純利益	597	743	146	24.4

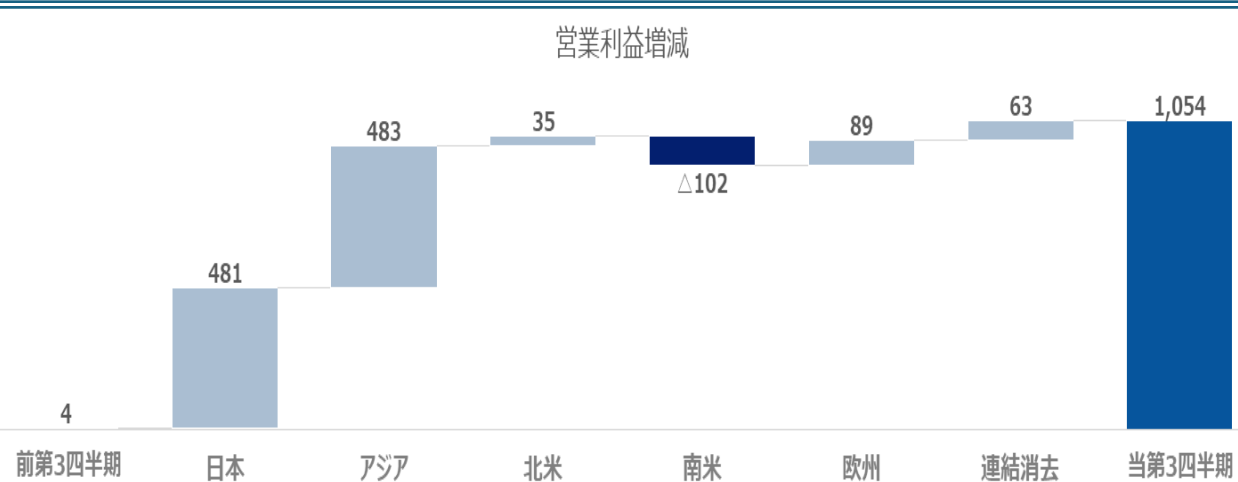
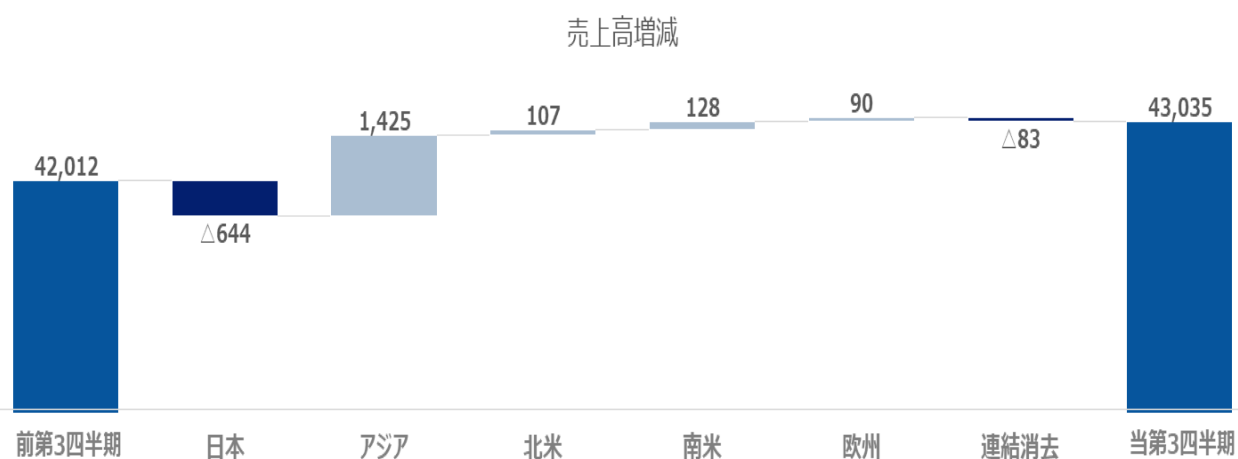
第1四半期から第2四半期にかけて、価格転嫁の効果が反映されはじめ、利益改善となったものの、第3四半期は、製品不具合の発生による交換費等の引当て及び、タイ拠点におけるパーツ高の影響が利益を押し下げ、第2四半期比で減益となりました。

- 売上高は昨年比で2.4%増加、営業利益は1,054百万円となり、昨年を大きく上回りました。
売上高は、為替が円安基調で推移したことによる為替換算の影響もあり増収。
利益面は、原材料やエネルギー等の価格上昇分の販売価格へ転嫁が順調に進んだことから、昨年比で大きく改善。
- 営業外において、昨年は大きな為替差益を計上していたものの、当第3四半期は為替差損の計上となり、経常利益は営業利益ほど伸びず。

指標	2025年3月期		
	4-6月	7-9月	10-12月
売上高	14,381	14,344	14,309
営業利益	159	599	295
営業利益率: %	1.1%	4.2%	2.1%

2025年3月期 第3四半期 決算報告 ② セグメント前期比較

(単位：百万円)



■ 日本

エネルギー価格や人件費等のコスト上昇分の価格転嫁が進んだものの、二輪車用チェーン、完成車メーカー向け二輪車用アルミリム、農業機械用ホイールの受注が低調であったことから売上高は減収。利益面については、価格転嫁が進んだことで、前年同期から改善したものの、製品の不具合による交換費用等を引当てたことにより営業損失。

■ アジア

円安の影響に加え、インド・中国での完成車メーカー向け二輪車用チェーンの受注が好調。

■ 北米

米国の金融政策や政治情勢の不透明感から産業機械用チェーンの受注は減少しましたが、円安の影響と補修市場向け二輪車用チェーンの好調な受注が業績の改善に貢献。

■ 南米

二輪車用チェーンの受注は好調でしたが、干ばつによる物流費用の増加や、現地競合先の台頭による産業機械用チェーンの価格競争激化による減益。

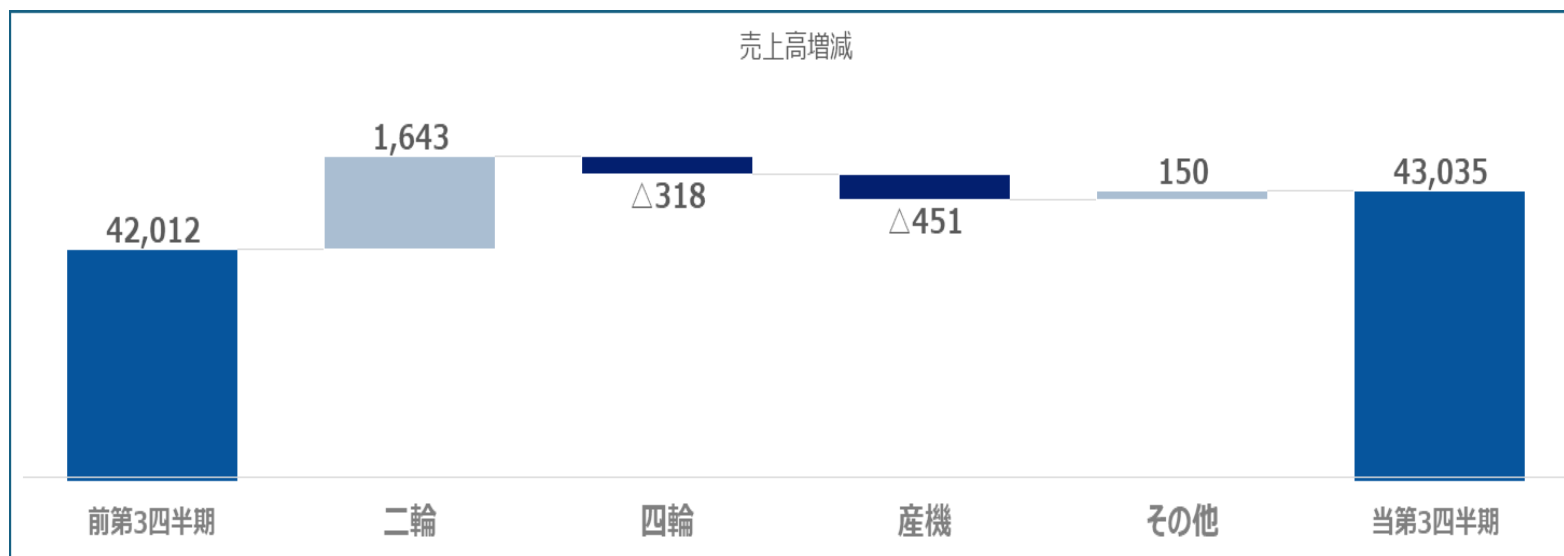
■ 欧州

円安の影響と産業機械用チェーンにおけるグループ内の商流再編、補修市場向け二輪車用チェーンの好調な受注が業績に貢献。

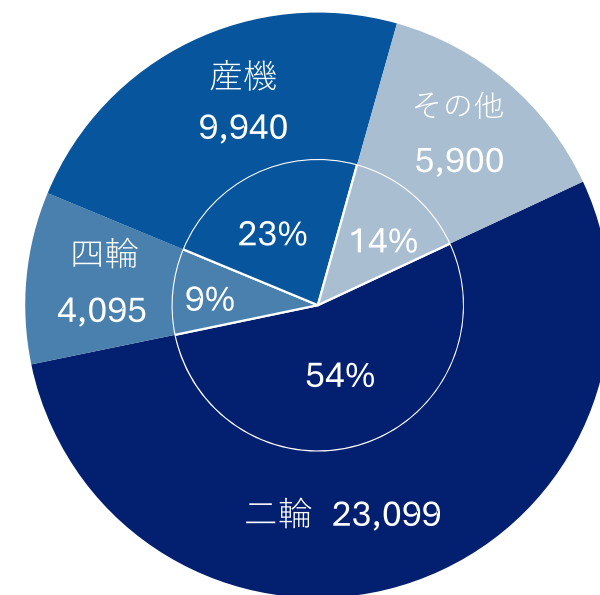
2025年3月期 第3四半期 決算報告 ③ 事業別売上高前期比較と事業別売上高構成比率

- 二輪・その他で前年比増収、特に二輪で大きく増収となったものの、四輪・産機事業では減収となりました。

(単位：百万円)



前期3Qと当期3Q比較



2025年3月期
第3四半期